



鬼は外！福は内！

鬼をやっつけろ！



2022年2月



2月は各事業所で節分の取り組みを行いました。当日の朝の会で職員から、「今年も病気や怪我無く、元気に過ごすごができるように、もし悪者の鬼がルームに来て、みんなで頑張って退治しよう！」と節分の謂れを踏まえながら、みんなに話をしました。子どもたちも「鬼来ても僕が退治する！」と意気込みながら、事前にみんなで鬼退治用の豆（ポール）も作成し、準備万端で鬼の登場を待ちました。

昼食は各事業所によって、様々な食材が入った恵方巻を準備し、コロナ禍でランチクッキングも工夫が求められますが、自分の巻き寿司を自分で巻いてみるなどの工程に参加してもらいました。巻き寿司を巻く経験をしたことがない児童も多かったため、「上手に巻くの難しいな」と苦戦していて職員も心配しましたが、出来上がると「美味しそうなん



できたよ！」「早く食べたいな」と、皆満足そうな表情で安心すると共に、一つでも児童が自分で行い達成感を得ることができるような工程を検討し、行ってもらったことの大切さを改めて感じました。

食事の場面では「今年の方角は北北西やねんで」「だからあっち向いて食べなあかねん」と、物知りな一面を披露している児童もいて、楽しく昼食時間を過ごしました。



そしてみんなが待っていた（恐れていた？）時間は突然訪れました。ルームの入り口に立つ鬼（の扮装をした職員）に気づき、「きゃー!!」「鬼が来た!!」と、慌てて逃げ出す児童もいるなど、のんびりした空気が一変しました。

事業所によってはとてもリアルに鬼の扮装をしている職員もあり、鬼が近づいてくると怖くて泣き出

してしまう児童もいるなど、周りの職員も大慌てになりました。

しかし中にはみんなの先頭に立って、「あっちいけ！」と力いっぱいボールを鬼に投げつける児童もいて、そんな友達の様子に勇気をもらい、一人また一人と立ち上がり、最後は職員も加わりみんなで「鬼は外！福は内！」の大合唱!!見事に鬼を退治しました。

鬼が退散するとみんなとても安心した様子で、感想を尋ねると「鬼さん怖かった」「また来ても僕がやっつけてやる」など、みんなの中でとても印象に残った行事となったようでした。

これからも季節を感じる行事を大切に、魅力的な取り組みを行っていききたいと思えます。

